

スラグの化学物質試験法来夏にも JIS 化 経済産業省



経済産業省は、スラグに含まれる化学物質について、試験評価の方法をルール化します。04 年夏にも日本工業規格(JIS)化することが明らかになりました。スラグが環境に与える影響を試験評価できるようになることで、再生材料・製品への有効活用が加速します。また、スラグの商用化が進み、リサイクルを通じたビジネス展開が活発化します。同省は試験方法の規格化を踏まえ、溶融スラグの JIS 制定、鉄鋼スラグと非鉄スラグの JIS 改定に順次取り組む方針です。

JIS 化するのにはスラグに含まれた化学物質が、どのくらい溶け出すかを測定する溶出量試験です。スラグそのものを分析することにより、環境への影響をみるとともに、より合理的な利用基準を導き出すところに狙いがあります。

これまでスラグの利用にあたっては、土壌分析による基準値を実質上の利用基準としていましたが、スラグ自体の分析による基準値ではありませんでした。このため経済産業省は「環境 JIS の策定促進のアクションプログラム」に、スラグの化学物質試験評価方法の標準化を盛り込み、検討を開始しました。このほど審議を委託した化学物質評価研究機構で、03 年度中に規格原案を作成し、04 年夏をめどに JIS 化する方針が固まりました。

試験評価方法を規格化した後、05 年 7 月までに製品規格化することになっている溶融スラグに、具体的な基準値を盛り込む予定です。また、すでに JIS 化されている鉄鋼スラグ、非鉄スラグにも基準値を織り込み、順次 JIS 改正を行っていく方針です。

資料: 2003 年 12 月 26 日付 日刊工業日報

機器分析箇所 岡田 伸美

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

